


第542回川崎医学会講演会

日時：令和6年10月21日（月）17:15～18:15

場所：総合医療センター5階 カンファレンス室3 座長 友田 恒一

「COPD患者の薬物・非薬物療法」

大阪公立大学大学院医学研究科呼吸器内科学
准教授 浅井 一久 先生



慢性閉塞性肺疾患(COPD)は慢性の肺疾患であり、咳・痰・息切れを呈して、徐々にADL(身体活動性)が低下する。身体活動性はCOPDの重要な予後因子であることが知られており、フレイル・サルコペニアを呈しやすいCOPDは、フレイル・サルコペニアによりさらに身体活動性が低下し、COPD患者は負のスパイラルに陥りやすい。

薬物療法としては、気管支拡張薬が症状の緩和に加えて身体活動性の維持に役立つ。他方、非薬物療法として、呼吸リハビリテーションにくわえて、セルフケアマネージメントが重要である。本講演では、COPD患者治療の現状と課題について共有したい。

※大学院生で講義として受講する場合は必ず教務課（大学院）へ問い合わせてください。

《皆様のご来聴をお待ちしております》